

## 比叡山(848m)、愛宕山(924m)、京都散策(宇治平等院)

期 日 : 2011年(H23)1月8~10日(土、日、祭) 朝発2泊3日  
山行地 : 京都北西部  
参加人数 : 29名(支部4名、本部25名)  
交通機関 : 貸切バス  
集 合 : 大宮6:00、用賀6:40  
解 散 : 海老名17:30、用賀18:00、大宮18:40  
会 費 : 26,000円  
宿 泊 : 宇多野ユースホテル(京都市右京区太秦中山町29、Tel:075-462-2288)

### 行動記録1: 登山コースおよび行動時間

月日	登山コース および 行動記録
1/8	大宮発 6:20→用賀 7:00→東名・伊勢湾岸・東名阪・新名神・名神大津→比叡山駐車場 13:30・・・根本中堂他見学 13:40~14:10・・・登山開始 14:15・・・山頂 14:40~50・・・比叡山 山頂駐車場 15:00~10→宇多野ユースホテル 16:30
1/9	宇多野ユース 8:00→愛宕山付近の駐車場 8:30・・・清滝 9:00 大杉谷コース・・・高雄分岐 9:20・・・月輪寺への分岐 9:30・・・稜線 11:00・・・表参道分岐 11:20・・・愛宕神社 11:20~50 休憩・・・三角点 12:10・・・愛宕神社・昼食 12:20~40・・・清滝 14:30・・・駐車場 15:00→広隆 寺拝観 15:25~16:00→宇多野ユース 16:30
1/10	宇多野ユース 7:30→宇治平等院駐車場 8:40・・・鳳凰堂他拝観 8:45~10:20 駐車場発 10:30→京滋バイパス・新名神・伊勢湾・東名海老名 17:30→用賀 18:00→大宮 18:40

### 行動記録2: コース状況、天候、感想等

一日目 大宮を少々遅れて出発するが、高速道路は概ね順調で、ほぼ予定時間通りに大津に着く。

ドライブウェイから琵琶湖を望みながら比叡山へ。前日雪が降ったらしく辺りは雪化粧。今日はそれに引き換え晴天、冬の京都にしては暖かな日だ。まずは国宝の根本中堂を拝観。本尊である伝教大師最澄作の薬師如来の前には、不滅の法灯が1200年間消えることなく灯り続けられ、まさに荘厳であった。その後比叡の最高地点を目指し雪道を散策。樹林帯の中の小高い丘に三角点と山名板があり、頂上を示していた。下山は目の前の山頂駐車場へ。行程45分の歩きだった。早いうちに宿の宇多野ユースホテルに到着、のんびりと入浴、夕食、懇親会を楽しんだ。

二日目 宿でゆっくり朝食後出かける。清滝のトンネルはバスの高さ制限に掛かり手前から歩く。

CLの友人で京都在住の同名のT氏が案内をしてくれ心強い。登りは階段の多い表参道を避け、大杉谷コースをとる。手入れの行き届いた杉林の道をジグザグと歩を進めるが、中盤から雪道となりしかも凍っているので、各自の判断でアイゼンを着ける。稜線に出ると雑木も交じり見晴らしも出てくる。一気に愛宕神社を目指し大鳥居まで登る。両側には石灯が立ち並び趣のある風情の中、階段を進んで本殿へ。火災の神様に早速参拝。(案内のT氏の話で「全国の愛宕神社は同じ造りである」とのこと。彫刻の施された拝殿や奥の神殿が家の近くの愛宕神社にそっくり、納得。)

休憩所で早昼を取りながら最後尾を待つが時間も過ぎてきたので、集まったメンバーで山頂へ

行く。しかし三角点の角柱は心無い人に持っていかれたとか、金属標のみであった。ここは最高地点ではないが京都の町並みが俯瞰でき、昨日歩いた比叡山も望めた。下山は表参道を下るが、途中まで雪が階段を埋めらくらく歩けた。今日も昨日に続き穏やかな天候に恵まれ、寒さを覚悟して登ってきた愛宕山はラッキーな山行となった。

時間も早かったので聖徳太子に由来する広隆寺を訪れる。国宝第一号の弥勒菩薩半跏像をはじめ、仏像だけでも国宝が17体、重要文化財が31体安置されていて圧巻だった。

宿が連泊なのはうれしい。夕食は特別食で京風料理を堪能する。

三日目 朝起きると庭が雪で真っ白、昨夜降ったのだろう、やはり寒くなってきている。しかし今日は平等院を見学、東京へ向かうのみだ。この時期の京都観光は空いているのでこれもよい。平等院では優雅な鳳凰堂と呼ばれる阿弥陀堂の拝観、阿弥陀如来像・雲中供養菩薩・扉の来迎絵図等の説明を聞き、博物館では創建当時の建物・仏像のコンピューターグラフィックによる復元の美しさに魅了される。思いを当時に馳せつつ一路京都を後にする。

帰路の高速は奈良・三重県境辺りの雪景色に感嘆し、静岡側からの富士山を満喫するも、海老名手前で事故渋滞に合う。だが出発時間が早かったため、思ったより早いうちにそれぞれの解散場所に到着できた。



比叡山根本中堂(内部撮影禁止)



愛宕神社境内



陀堂平等院鳳凰堂(阿弥陀堂)



宇多野ユースホステル